三角西港

全景

わが国初の本格的な近代港湾施設として、明治20年に開港された熊本県宇城市の「三角西港」。2015（平成27）年、世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」のひとつとして登録された。

宇城市物産館
トイレ外観

三角西港の設計者、オランダ人土木技師のローウェンホルスト・ムルドルの名を冠した宇城市物産館「ムルドルハウス」。大型観光バス駐車場が隣接することから、トイレも三角西港で最も利用されている。

宇城市物産館
トイレサイン

色分けした突き出しのサインと、視認性の高い大きなイラストにより、男・女トイレと男女共用トイレがひと目でわかるようにしている。

宇城市物産館
男性トイレ 洗面コーナー

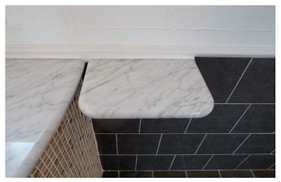
三角西港海側の埠頭をイメージしたモザイクタイルのライニングカウンター。手洗い後の床への水垂れを抑えるため、洗面器の間にクリーンドライ（ハンドドライヤー）を設置している。

宇城市物産館
男性トイレ
小便器コーナー

プライバシーと性的マイノリティへの配慮から、小便器の間に顔まで隠れるくらいの高さ（H=1700mm）で仕切りを設けている。正面タイル張りの青い壁は、三角港の海の豊かさを連想させる。

宇城市物産館
男性トイレ
ひろびろブース

紙の削減や、宗教信仰上の理由から水洗いする文化圏の訪日外国人などに配慮し、すべての大便器に温水洗浄便座を設置。さらにお子様連れに配慮して、大便器ブースの1ヶ所にはベビーチェアを設けている。



宇城市物産館
女性トイレ 洗面コーナー

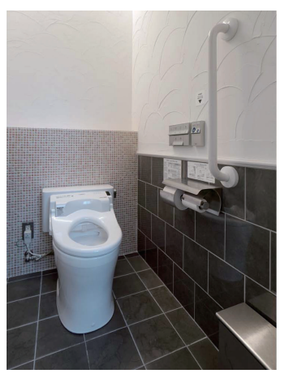
感染や衛生面に配慮して、自動水栓とオートソープディスペンサーを設置した洗面コーナー。洗面器の脇に、水濡れを心配せずに化粧ポーチなどの小物を置くことができる棚を造作した。

宇城市物産館
女性トイレ
スタイリングコーナー

鏡に近づいてお化粧直しができるよう、カウンターの奥行きを200mmとしている。さらに、鏡は大型の一面鏡を設置し、混雑時にも、より多くの方が同時に使用可能となるように配慮されている。

宇城市物産館
女性トイレ
大便器コーナー

大便器ブースの間仕切り壁を天井まで立ち上げ、防犯対策を図るとともに個室感も高めている。壁は海の波をイメージし、うねりを模した「こて塗り」とした。

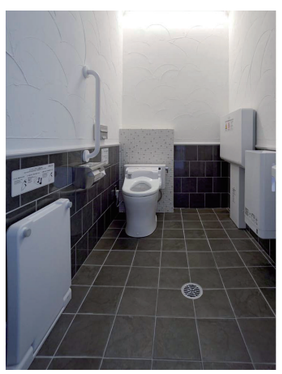


宇城市物産館
女性トイレ
大便器ブース

紙の削減や、宗教信仰上の理由から水洗いする文化圏の訪日外国人などに配慮し、すべての大便器に温水洗浄便座を設置。男女ともに全ブースには、立ち座りをサポートするI型手すりを設けている。

宇城市物産館
女性トイレ
ひろびろブース

女性トイレ内には、小さなお子様連れに配慮して、ベビーシート、ベビーチェア、フィッティングボードを完備したひろびろブースを設けている。



宇城市物産館
男女共用トイレ

性的マイノリティの方や幅広い世代など、多様な利用者に配慮した個室完結型の「男女共用トイレ」を設置。小さなお子様連れも安心して利用できるよう、ベビーチェアなどを備えゆったりとしたスペースを確保している。

2021.03 作成　無断複製・転載禁止 ©TOTO LTD. 2021 All Rights Reserved 27050

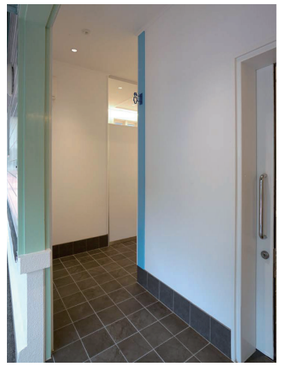
三角西港

龍驤館（りゅうじょうかん）
トイレ外観

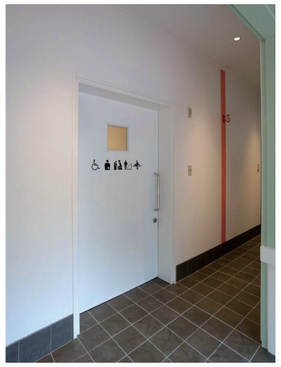
明治天皇範頌徳記念館として1918（大正7）年に創立された龍驤館（りゅうじょうかん）のトイレ外観。龍驤館は、登録有形文化財であり。現在は、三角西港の歴史のガイダンス施設として利用されている。

龍驤館（りゅうじょうかん）
トイレサイン

いろいろな角度から、遠くからでもトイレがひと目でわかるサインを表示。さまざまな目的で利用できるトイレであることがわかりやすく表示されている。



龍驤館（りゅうじょうかん）
トイレサイン



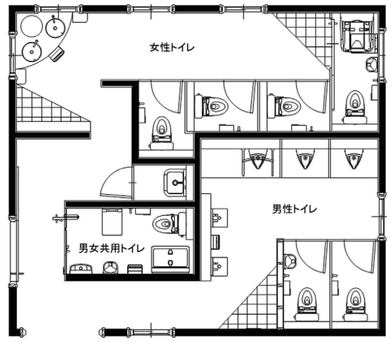
わかりやすいイラストと縦ライン状の色分けにより、男女トイレと多機能トイレの位置がひと目でわかるように誘導している。

龍驤館（りゅうじょうかん）
女性トイレ 洗面コーナー

三角西港海側の埠頭をイメージしたモザイクタイルのライニングカウンター。清掃性に優れた壁掛ハイパック洗面器を採用。

龍驤館（りゅうじょうかん）
女性トイレ
大便器コーナー

限られた空間の使いやすさを考慮し、ブースはすべて引き戸とした。また扉には、ブース内の設備がひと目でわかるピクトグラムを掲示している。

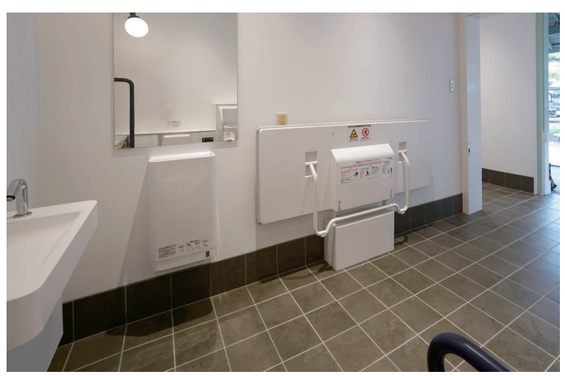


宇城市物産館
トイレ図面

女性トイレと男性トイレの間に、幅広い世代や多様な方に配慮した個室完結型の「男女共用トイレ」を設置。大型観光バス駐車場が隣接することから、三角西港で一番利用が多いトイレとなっている。

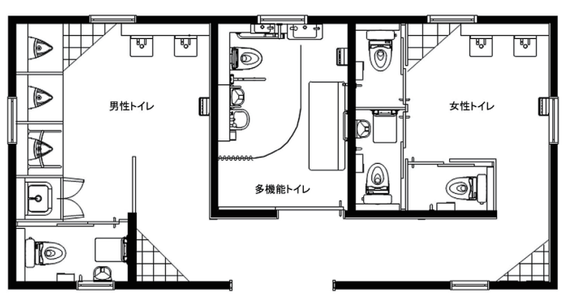
龍驤館（りゅうじょうかん）
多機能トイレ

お子様連れの利用を想定し、ベビーチェアがセットされたコンパクト多機能トイレパックを採用。さらに、大型ベットを備えた前室部との間には、プライバシーに配慮してカーテンを設置した。



龍驤館（りゅうじょうかん）
多機能トイレ

車いす使用者の排せつや着替えなどを考慮し、大型ベッドを設置している。



龍驤館（りゅうじょうかん）
トイレ図面

コンパクトな器具を多用し、限られた空間を有効に活用することで、ゆとりを持たせている。また多機能トイレは車いす使用者の排せつや着替えなどを考慮し、大型ベッドを設置している。

水まわりの特長

改修の経緯

熊本県宇城市の「三角西港」は、明治の三大築港事業として1887（明治20）年6月に開港された。わが国初の本格的な近代港湾施設であり、2015（平成27）年、世界文化遺産として登録された「明治日本の産業革命遺産　製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成遺構とされてから、年間約24万人の観光客が訪れるスポットとなっている。改修前の満足度調査では、トイレ評価が最も低かったが、宇城市におけるさらなる「観光振興」および「熊本地震からの復興」を推進する取り組みの中、2019（令和元）年7月に、宇城市・TOTOとの連携協定を締結。このたび、エリア内施設において、おもてなしの心を込めた「特別感のある居心地のよいトイレ」へのリニューアル計画が進められた。

水まわりの特長

世界文化遺産に登録されているため、容易に外観変更はできず設計担当者、スタッフ内で綿密な打ち合わせ・調査を行い計画を進めた。また利用特性から、乳幼児連れ、高齢者、外国人、性的マイノリティなど多様な利用シーンを想定し、水まわり設計に盛り込んでいる。男女ともに便器は全洋式化とし、宗教信仰上の理由から水洗いする文化圏の訪日外国人などに配慮し、すべての大便器に温水洗浄便座を設置。特に宇城市物産館ムルドルハウスでは、男女一般トイレと別に男女共用トイレを設けている。さらに災害時も考慮し、節水型でもあるパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用。内装も一新し、多くの配慮を形にした、おもてなしトイレが誕生した。

建築概要

名称	三角西港
所在地	熊本県宇城市三角町三角浦
施主	宇城市
設計	株式会社宮田設計
施工	有限会社内田防水工業
竣工年月	（改修）2020年3月（宇城市物産館）
	（改修）2020年9月（龍驤館）
建築面積	50㎡（宇城市物産館）
	41㎡（龍驤館）
延床面積	50㎡（宇城市物産館）
	41㎡（龍驤館）
構造・階数	木造・地上1階

おもなTOTO使用機器

パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS497B
ウォシュレットPS（擬音装置「音姫」付きエコリモコン）:TCF5523AUYS
スペア付紙巻器:YH150 R/L S
チャームボックス（汚物入れ）:YKB102
自動洗浄小便器:UFS900WR
壁掛ハイバック洗面器:LSA125AA
洗面器:L530
壁掛手洗器:LSW870APFRMR
台付自動水栓:TENA40A
自動水石けん供給栓:TLK02S04J
クリーンドライ（ハンドドライヤー）:TYC420W
コンパクト多機能トイレパック:UADBK61R1A1AS
パブリック用手すり:T112C6、T112CU22
ベビーシート:YKA24系、YKA25系
ベビーチェア:YKA15系
フィッティングボード:YKA41系

2021.03 作成　無断複製・転載禁止 ©TOTO LTD. 2021 All Rights Reserved 27050